

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	さくら江津		
○保護者評価実施期間	令和6年11月29日		～ 令和6年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	令和年11月29日		～ 令和6年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境を生かした支援が出来る。	自転車教室やサイクリング、カヌーなどが出来る。	日頃体験できないことを模索しながら支援の中に組み込んでいくように努力している。
2	A型就労、B型就労へ繋げている。	長期休暇等を利用して職業体験を実地している。自社にA型就労、B型就労があるため体験しやすい。	実際に就労で行われている作業を日頃の自立課題の中に取り組んで療育していく。
3	保護者会、マルシェ開催。	保護者会では保護者の悩みなどを話したり情報交換が出来る場を作っている。マルシェでは子ども達の作品を販売し日頃の取り組みや成果を見て頂ける場を作っている。	地域の方々への周知を広げて、放デイへの理解を深めてもらったり、家族間交流ができるように内容を工夫していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人材確保が難しい	放課後等デイサービスの認知度がまだまだ低いと思われる。度重なる報酬改定による報酬減の為。	国や市に対する要望を出し続ける。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日				回収数			
	令和7年1月8日							
事業所名	利用児童数				回収数			
	令和7年1月8日 18名(16世帯)							
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10			1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10			1		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10			1	<ul style="list-style-type: none"> 耳から入る指示が通りにくい子なので視覚的に分かりやすく書いてあったり、写真やイラストが貼ってあり助かります。 部屋のドアに番号、屋外にはスロープや手すりも設置されていて使いやすいそうです。 	特性に合わせて物事を理解できる方法や子ども達が安心して過ごせる環境を作っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10			1		
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10			1	<ul style="list-style-type: none"> 苦手な事、やりづらいことは個別に指導して下さるので助かります。 とても理解して頂いていると思います。 	個別支援計画や専門的支援実地計画に基づき、個人の不得手な部分を分析し、徐々に能力を引き上げるカリキュラムを作り支援を継続していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10			1		
	7	子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10	1			細かな所までよく把握されていて長い時間をかけて計画を組んでくださっています。	モニタリング、担当者会議などを定期的に行い、保護者の意見を聞き、子ども達を取り巻く環境を把握し関係機関と連携しながら個別支援計画の作成を行って行きます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10			1	楽しそうなプログラムが多く、内容も幅広いです。	指導員全員で毎日のミーティングを行いプログラムの計画を練ります。長期休暇については早めの計画をして、子ども達が満足し楽しみながら療育を受け全員が体験できるように工夫していきます。
保護者への説明等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6	2	1	2	<ul style="list-style-type: none"> 地域の他の子どもとは言っても色々な小中学校の子どもたちが通所するので必要ないと思います。 地域の他の子どもとさくらさんの他事業所さんの子どもも含まれるなら「はい」です。 他の事業所の子ども達とは運動会やマルシェなどで交流の機会があります。 	限られた時間の中では難しい問題だと思います。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	1				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10			1	苦手な事がしっかり把握されているので継続的に支援して頂けると思います。	モニタリングで日頃の様子を伝え、家庭、学校での様子を聞きながら支援内容を照らし合わせ説明しています。今後も継続します。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10			1	障がいを持つ子の親にしか分からない悩み、出来ない話などあるので保護者会はとてもありがたいです。	保護者会を開いて意見交換の場を作ったり、講習会等のご案内をしています。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達について共通理解ができていますか。	10			1	求められていることが無理そうだと親が感じた時に意見を聞いてペースをゆっくりにして頂いたり待って頂いたりしてもらえるので助かります。	モニタリング以外でも送迎時、連絡帳内で状況を伝え合い共通理解をしています。
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10			1			
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10			1	子どもの気持ちや考えを聞き出してくれ共有してくれるので助かっています。	保護者と子ども達の気持ちに寄り添いながら支援を継続していきます。	

	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10			1	・保護者会やマルシェなど開催してもらい普段なかなか会えない保護者の方と情報の交換ができています。 ・保護者会ではゆっくりと話することができます。マルシェはきょうだいもいつも楽しみにしています。	保護者会を開いて保護者同士の話をする機会を作ることで、お互いの悩みを共感したり支援を参考に出来る場を作っています。 年に1回マルシェを開催し子ども達の家族に来ていただくことでコミュニティの場を作ります。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	1				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10			1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10			1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11				水害や地震などの訓練があっているようです。	安全計画に基づき定期的な避難訓練（火災・地震・水害）年4回を実地しています。全員が参加出来るよう曜日の設定など考慮していきたいと思っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11				どの先生方も良い方ばかりで安心感があります。	子ども達が安心して通所出来るように環境を整えてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11				・学校の行事などで通所できないと本当に悔しがります。高校生までしかいけないことへも残念がります。 ・帰宅後楽しかった事を話してくれます。（普段学校での出来事はあまりはなしません）	子ども達が楽しく活動し、自信が持てるようになるプログラムを用意して受け入れをしております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10				・年齢によって支援の仕方やアドバイスなど個々の事を考えて下さっているのだと感じます。 ・将来のことまで考えて支援してもらっていて感謝しています。・安心してお任せすることができます。	満足していただける支援と環境を整えてまいります。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 さくら江津

公表日 2025年 1月 8日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		玄関がスロープになっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		のびのび活動シートを使って計画、目標、振り返りのミーティングを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	現在は第三者による評価は受けていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		モニタリング後は指導員へ情報共有を行い今後の支援に繋げている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			受診時に主治医への情報提供を行った。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			必要に応じて対応している。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7			必要に応じて対応している。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1		移行シートを利用して情報を共有している。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		7		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7			
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2		モニタリングや相談時に話しているが研修等は行っていない。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40	文母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7			年1回の保護者会を開催している。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7			毎月さくら通信を発行したり、ブログを発信している。	

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		マルシェ開催の時に地域の方を招待している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	6	現在該当児童はいない。事前に確認は行っていない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		年4回の避難訓練を行っている。（地震、水害、火災）	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7			